

遠くまで行きたければ、みんなで進め

本日の生徒総会に向けて、生徒会本部役員、各専門委員会の委員長を中心に準備を進めてくれました。また、5月実施の学級討議では、全生徒が各学級で話し合い、富士見中学校をよりよい学校にするための意見や質問を出してくれました。そのような準備が全て整い、本日の生徒総会が成立したのだと思います。議長団の皆さんも、本日の議事をしっかりと進めることができました。よくできました。ありがとうございました。

先ほど行われた議事の1つに「令和6年度生徒会年間活動計画と学校生活の決まりについて」があります。そこでは、意見箱に投函された意見「靴の色を白限定ではなく、白以外をみとめてもよいのではないか」についても話し合われました。その結果として、生徒みなさんの「総意」として次の段階（校則検討委員会）に進んでいくことになりました。

第78期生徒会のスローガンは「繋（つなぐ）」です。この「繋」には、①生徒の思い ②伝統 ③未来へのバトン をつなぐという意味が込められているそうです。先ほど、1例として挙げた「靴の色」についても、伝統を受け継いだうえで、生徒の思いをつなぎ、未来の生徒にバトンをつなぐということができたのだと考えています。

現在の内閣総理大臣（第100代）岸田文雄総理が就任時に所信表明をされたときの言葉はいまでもよく覚えています。「早く行きたければ、一人で進め。遠くまで行きたければ、みんなで進め。」という言葉です。これは、アフリカのことわざからの引用なのだそうです。岸田総理は、この言葉を紹介した上で、次のように続けました。「一人であれば、目的地に早く着くことができるかもしれませんが、しかし、仲間となら、もっと遠く、はるか遠くまで行くことができます。私は日本人の底力を信じます。」

本当にその通りだと思います。私たち富士見中学校は、本日の生徒総会で、みんなで、思いをつなぐことができたのだと思っています。アフリカのことわざで言えば、みんなで進むことができたのだと思っています。現在の生徒会の取組は、遠い遠い未来（みなさんの子どもや孫の世代？）にまでつながっていきます。私たちには大きな責任があると考えています。これから先も、私たちの富士見中学校をよりよい学校にするために、みんなで思いをつなぎ、伝統をつなぎ、未来へのバトンをつないでいきましょう。

以上で、講評を終わります。